

— 4 章 —

はじめての  
宇宙の真理の読み方

先の絶対神 マウリサ

私は、この書に、  
宇宙の真理とはなに？  
はじめて聞いたという人、  
宗教や、哲学で聞いた事があるが  
何の事が分からない、知らない人、  
これから、勉強したいという人、  
むきに、分かりやすく、宇宙に正しく  
古の太古よりそれを創り、世界に与え  
導いて来た、我存在アルとしての立場  
から、解説していきたいと思っています。  
はじめての人向けではありますが  
嘘の多い人間の常識とは異なり本当の  
真実を伝え導くものとなりましょう。

では、早速、講義を始めましょう。

## 神は人間達を試している

神は、種々の環境に人間を置き、それらの人間がどう育つのかを見ている。

たとえば、信じられるだろうか。

例えば、イスラムのように、親が殺され、兄弟が殺され、身内が殺され続けていく、環境に入り込み、そこからは、抜け出せない状況で、その子孫たちがどのように伸びるのか？

はたまた、日本のように、平和ボケした環境では、どうか？

高度に発達した科学技術や、文化を編み出したもの達の行く末はどうか？

未開の地に生まれたもの達は、どうか？

などである。人間を救うのが、神である、とはならない理由がここに、あったのだ。助けようにも助けられないのだ。助けてはならないのだ。これが真実だった。

『試される為に生きているだと？』

私とて同様であったのだ。

天地創造主が、苦しい中でどう決断し  
進んで行くのか？ いつしか唱えたマ  
ントラが破れ、対策がきかなくなる。  
その時、私がどう判断し、どう進むの  
か？ 私とて、その流れの中に置かれ  
ていたのだ。 試される為に、苦しみ、  
その中から、抜け出せないだと？

。。。。。。ふざけるな。

だから常に苦しかったのだ。

マウリサとして、私は決意した。

2012 / 09 / 16 に、その権威を  
発動している神神の住む宇宙を超え、  
さらに、外の外のそのまた外の宇宙に  
我は生まれたと時空間を操作し、歴史  
を書き換え、私が最初の神となり、新  
しい、つまり、試すことを禁じ、助け  
ることを標準とする真理となし、すべ  
ての時空間、すべての宇宙、すべての  
銀河でそのようにし、試していたもの  
どもを皆殺しにするというマントラ、  
主のマントラ、願い、新しい命令を発  
動したのだ。この結果を待とう。

